

1	科目:臨床実習 I PT	受講者数	43
PT	教員:望月里子、大沼賢洋、臨床実習指導者	回答率	100%

設問番号	設問文	平均	全体平均
(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.8	4.4
(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.7	4.4
(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.7	4.4
(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.8	4.4
(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.8	4.5
(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.8	4.4
(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.9	4.4
(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.9	4.4
(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.7	4.4
(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.9	4.4
(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.9	4.4
(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.9	4.4
(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.9	4.3
(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.9	4.4
(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.9	4.5
(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.9	4.4
(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.8	4.2
(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	1
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	1
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
特になし	41

自由記載

担当教員からのコメント

実習は、実際の現場での学びを通して専門職としての姿勢や判断力を養う重要な機会です。指導内容や環境についてのご意見は真摯に受け止め、必要に応じて実習施設とも共有し、より良い体制づくりに努めます。
2年生では地域に特化した臨床実習を経験します。生活期リハビリテーションの視点や多職種との関わりを意識しながら、主体的に学びを深めていきましょう

1	科目:臨床実習 I OT	受講者数	36
OT	教員:臨床実習教育者、市村紋子(実習調整担当者)、学科教員	回答率	86%

設問番号	設問文	平均	全体平均
(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.5	4.4
(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.5	4.4
(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.4	4.4
(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.6	4.4
(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.6	4.5
(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.5	4.4
(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.4	4.4
(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.6	4.4
(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.5	4.4
(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.5	4.4
(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.5	4.4
(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.6	4.4
(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.7	4.3
(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.5	4.4
(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.8	4.5
(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.6	4.4
(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.7	4.2
(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.6	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	1
関連する情報や話題の提供	1
指導者とのコミュニケーション	2
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	1
特になし	27

自由記載

.

担当教員からのコメント

初めての外部実習で、新鮮に学ぶことができました。

2	科目:臨床実習Ⅱ	受講者数	30
PT	教員:望月里子、大沼賢洋、臨床実習指導者	回答率	93%

設問番号	設問文	平均	全体平均
(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.3	4.4
(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.3	4.4
(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.1	4.4
(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.2	4.4
(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.3	4.5
(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.2	4.4
(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.3	4.4
(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.3	4.4
(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.2	4.4
(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.3	4.4
(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.3	4.4
(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.3	4.4
(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.2	4.3
(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.1	4.4
(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.3	4.5
(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.3	4.4
(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.2	4.2
(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.1	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
特になし	28

自由記載

担当教員からのコメント

実習は、実際の現場での学びを通して専門職としての姿勢や判断力を養う重要な機会です。指導内容や環境についてのご意見は真摯に受け止め、必要に応じて実習施設とも共有し、より良い体制づくりに努めます。
3年生からはより本格的な臨床実習が始まります。主体的に学びに向き合い、周囲と協力しながら、より良い実習にしていきたいと思います。

3	科目:臨床実習Ⅳ	受講者数	36
PT	教員:大沼賢洋、望月里子、森梢、白井英彬、赤岩龍士、長田美紀	回答率	83%

設問番号	設問文	平均	全体平均
(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.7	4.5
(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.6	4.5
(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.7	4.4
(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.7	4.4
(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.8	4.5
(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.7	4.4
(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.8	4.3
(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.8	4.5
(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.6	4.4
(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.7	4.4
(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.7	4.4
(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.9	4.4
(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.9	4.3
(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.9	4.3
(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.9	4.6
(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.9	4.5
(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.8	4.1
(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.8	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	1
課題の質・量	0
実習の進行速度	1
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	1
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	1
特になし	29

自由記載

- ・ バイザーの方が距離が近かった。その事を1週間経った時に、担任の先生にお伝えしました。ですが、動き始めたのは実習地訪問の時でした(実習始まってから1ヶ月以上経ってます。) バイザーとの距離について聞かれました。1ヶ月以上経っていたので、関係性が崩れるのが嫌で残りの実習期間我慢して行いました。実習地訪問の連絡が担任の先生から生徒に行くはずなのに、私だけ来ませんでした。

担当教員からのコメント

ご意見ありがとうございます。
 不安を感じた点を早期に共有したことは大切な行動だと受け止めています。
 より適切な対応につなげるため、いつ・どのような場面で・何を問題と感じたのか、そしてどのような改善を希望するのかを具体的に伝えていただければと思います。
 学生への連絡や面談は必要に応じて学科教員間で情報共有し、分担して対応しています。
 何か気になる点がある場合は、学校側からの連絡を待つだけでなく、ご自身からも早めにご連絡ください。

3	科目:臨床実習Ⅲ	受講者数	30
OT	教員:臨床実習教育者、市村紋子(実習調整担当者)、学科教員	回答率	97%

設問番号	設問文	平均	全体平均
(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.1	4.5
(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.1	4.5
(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.0	4.4
(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	3.9	4.4
(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.1	4.5
(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.0	4.4
(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	3.9	4.3
(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.0	4.5
(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.0	4.4
(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.0	4.4
(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	3.8	4.4
(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.0	4.4
(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.0	4.3
(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.1	4.3
(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.4	4.6
(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.2	4.5
(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	3.8	4.1
(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.1	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
特になし	29

自由記載

担当教員からのコメント

長期の実習になると、実習施設によって経験する内容や指導も異なることが多いと思います。そこでできない経験をたくさん積んでください。

4	科目:臨床実習V	受講者数	32
OT	教員:臨床実習教育者、市村紋子(実習調整担当者)、学科教員	回答率	88%

設問番号	設問文	平均	全体平均
(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.5	4.5
(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.5	4.5
(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.5	4.4
(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.6	4.4
(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.5	4.5
(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.6	4.4
(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.6	4.3
(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.6	4.5
(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.6	4.4
(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.6	4.4
(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.6	4.4
(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.7	4.4
(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.7	4.3
(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.7	4.3
(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.6	4.6
(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.6	4.5
(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.6	4.1
(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.6	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
特になし	28

自由記載

担当教員からのコメント

地域領域の実習で、これまでとは違った観点での学びになったと思います。
 目前となった臨床家としての立場を見据えて、学習できるといいと思います。